

会議概要

会議の名称	第4回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	令和4年7月14日(木)
開始・終了時刻	午前10時00分 から 午前11時30分
開催場所	鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	宮内 智 (久喜市生涯学習推進会議議長)
出席委員(者)氏名	明石實正、伊東堯司、井上日出子、今村望太郎、影山悦夫、木村寿雄、小山将史、篠原吉則、島田俊雄、杉村榮一、田沼勝子、中里厚子、長島一枝、長谷川信子、宮内智、山崎敏子
欠席委員(者)氏名	後藤悦子、田村佳代子、中村喜美子、諸橋美津子
説明者の職氏名	渡辺充範生涯学習課課長補佐、鈴木亮生涯学習課係長
事務局職員職氏名	小林幸司生涯学習課主幹、渡辺充範生涯学習課課長補佐、鈴木亮生涯学習課係長、白石昌子生涯学習課主任、芦澤和季生涯学習課主事
会議次第	(1) 第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書について (2) 第2次久喜市生涯学習推進計画の策定について (3) 第11回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について
配布資料	・次第 ・資料1-1「第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書」 ・資料1-2「推進計画市民意識調査」 ・資料2「第2次久喜市生涯学習推進計画の策定について」 ・資料3「第11回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について」 ・資料4「第10回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」チラシ」
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

事務局(渡辺)

皆様こんにちは。お忙しい中、お集りいただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から、第4回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。本日の司会を務めさせていただきます生涯学習課の渡辺と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、新型コロナウイルス感染症対策予防のため、マスクの着用と手指の消毒にご協力いただきありがとうございました。

本日の出席者は16名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席になりますので、当会議が成立することをご報告いたします。なお、本日は後藤委員、田村委員、中村委員、諸橋委員から欠席する旨の連絡をいただいております。

続きまして、会議に移る前に2点、皆様にご了承をいただきたいことがございます。

1点目は、会議の進め方等についてでございます。久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。なお、本日の傍聴者は今のところおりません。

2点目は、会議録の作成についてでございます。会議録は、概ね1か月以内に、公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録作成のため、録音をさせていただきます。

この録音の際に音声を拾いやすいように、発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いします。事務局職員が発言する方のもとにマイクをお持ちしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。

本日の資料を確認させていただきます。本日の会議資料は、「次第」、資料1-1「第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書」、資料1-2「推進計画市民意識調査」、資料2「第2次久喜市生涯学習推進計画の策定について」、資料3「第11回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について」、資料4「第10回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」チラシ」となっております。もし、お手元がない方がいらっしゃいましたら、事務局まで申し出ていただきたいと存じます。

<資料不足の声なし>

事務局(渡辺)

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。まず初めに、宮内議長からごあいさつをいただきたいと存じます。

<宮内議長 あいさつ>

事務局(渡辺)

ありがとうございました。続きまして、小森谷生涯学習課長からごあいさつを申し上げます。

<小林主幹 代理であいさつ>

事務局(渡辺)

それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、宮内議長にお願いいたします。

宮内議長

それでは議事につきまして、議事(1)「第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書について」です。事務局から説明をお願いします。

鈴木係長

生涯学習課の鈴木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書について、私から説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査につきましては、現行の久喜市生涯学習推進計画の改訂にあたりまして、市民の皆様へ生涯学習への関心や実態を把握し、第2次計画策定方針及び掲載内容を検討するための基礎資料とすることを目的に、令和4年3月に実施したものでございます。

こちらの調査の内容は、大きく3つございます。1つ目が本市の生涯学習に関する取組みについて、2つ目が生涯学習全般について、3つ目がコロナ禍における生涯学習について、その他で自由記述欄を設けまして、皆様からご回答いただきました。

こちらの調査の対象は久喜市在住の18歳以上の2,000人の方とし、郵送による無記名方式、または電子申請による回答も可といたしました。

こちらの配布・回収結果についてでございますが、資料1-1の1ページ目の中段にあります「配布・回収結果」をご覧くださいければと思います。

有効回答数は、629票でございました。返信用封筒による回答は509票、電子申請による回答は120票となり、トータルで回答率が31.5%でございました。男性よりも、女性の方が若干多くなっております。

年度別の回答につきましては、60歳から69歳が回答率40%を超え、もっとも高い割合であったことが分かります。

続きまして2ページ目の「回答者の属性」になります。職業の欄では、会社員・団体職員が1番多く32%。次いで、無職が19%、パート・アルバイトが16%ということになっております。

次のページから、具体的に生涯学習に関する調査結果の報告になります。

こちらは「久喜市の生涯学習に関する取組みについて」ということで、

【問1】「久喜市が取り組んでいるどの生涯学習事業をご存じですか」という質問では、それぞれ「市民大学」「高齢者大学」「放課後子ども教室」「出前講座」などを質問項目としました。

「市民大学」「高齢者大学」「放課後子ども教室」の3つにつきましては、「詳しく知っている、おおよそ知っている、言葉は聞いたことがある」と回答した方が、ほぼ半数を超えましたが、それ以降の「出前講座」「人材バンク」「生涯学習推進大会、まなびすと久喜」「生涯学習研修大会、まなびすとフォーラム」「広報紙 まなびすと久喜」「社会教育委員会議」「生涯学習推進会議」につきましては、6割から7割の方から、「まったく知らない」というような回答をいただいたところでございます。

続きまして、「生涯学習全般について」の【問2】「生涯学習について、どうお考えですか」という質問では、「積極的に行いたい」が6.2%、「時間があれば行ってみたい」が32.3%で、こちらの2つを合わせた割合は38.5%で約4割弱となりました。

【問3】「現在、生涯学習、学習活動や文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動等をしてしていますか」という質問では、「している」が18.4%、「していない」が79.0%という結果になりました。

【問4】問3で「している」という回答した方にお伺いし、「生涯学習を行っている理由は何ですか」という質問では、1番多かった回答が「スポーツ」で22.8%、続きまして「レクリエーション」で14.8%となりました。

その他の内容といたしましては、例えば日本語講師やボランティアですとか、こちらに記載がありますとおりの幅広いご回答をいただいております。

【問5】「生涯学習をどの地域で行っていますか」という質問では、1番多かった回答が、久喜市内で60.1%。続きまして、県内他市町村で19.6%ということで、約8割の方が埼玉県内で、生涯学習活動を行っていることが分かりました。

【問6】「生涯学習を行うようになったきっかけは何ですか」という質問では、「自ら学習・活動したくなったから」という回答が41.2%でもっとも多

く、続きまして、「自由な時間を活用したいから」という回答が28.2%でございました。

【問7】「生涯学習を行う理由は何ですか」という質問では、「健康の維持、増進に役立てるため」が20.7%と最も多く、続いて、「生きがいを保つため」が19.9%でございました。

【問8】「どのような方法で生涯学習をしていますか」という質問では、「クラブ、サークル等の団体活動」が1番多く31.5%。次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブ、民間の講座や教室」が16.8%。「公民館や図書館等の公共施設が行う講座や教室」が16.3%となり、個人で活動するというよりも、クラブやサークル、スポーツクラブ等の団体で活動されている方が多い結果となっております。

【問9】「生涯学習で学んだ学習や活動の成果を、どのような場で生かしていますか」という質問では、1番多かった項目が「趣味や健康管理」で30.1%、続きまして、「交友範囲の拡大」で13.6%、次いで「家庭生活」が12.7%となり、健康管理に生かしている方が多いということが分かります。

続きまして、【問3】で生涯学習をしていないと回答された方に、【問10】「生涯学習を行っていない理由は何ですか」と質問したところ、1番多かったのが「仕事が忙しくて時間がない」で18.6%。次いで、「きっかけがつかめない」が15.1%となりました。

【問11】「これから生涯学習するとすれば、具体的にどのようなことを学習したいですか」という質問では、もっとも多かった回答が「健康・スポーツ」で16.8%。次いで、「趣味的なもの」で15.9%となり、健康とスポーツに関することについて皆様の関心が高いことが分かりました。

【問12】「今後、どのような方法で生涯学習を行いたいですか」という質問では、1番多かった回答が「インターネット・スマートフォン」で22.0%。次いで「市の講座や講習会」で17.9%でございました。こちらは、時代を反映している部分があると思われれます。実際にスポーツなどをやりたいという意見が多い一方、インターネットやスマートフォンでいつでもどこでも、生涯学習をすることができるのが1番望まれることが分かりました。

【問13】「市では生涯学習に関する情報を広報紙等で提供していますが、今後特に充実してほしい内容は何ですか」という質問では、1番多かったのは、「広報紙・チラシ・冊子」で34.6%。続きまして、「市ホームページ」で29.2%でございました。先ほど、「インターネットやスマートフォンで生涯学習を行いたい」という電子媒体についての意見があったのですが、こちらの項目ですと、充実してほしい内容は依然として、「広報紙・チラシ・冊子」といった紙媒体の要望が1番多く、続いて、市ホームページとなりました。紙面、電子ともに充実してほしいという意見が出ています。

その他にも、YouTubeやSNSという回答もあり、このあたりは今の時代を反映しているのではないかと考えております。

【問14】「生涯学習に関して必要な情報は何ですか」という質問では、講座の情報が22.2%でもっとも多く、次いでイベント情報が15.0%でした。

【問15】「地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか」という質問では、「スポーツ・文化活動」が15.9%でもっとも多く、次いで、「地域や社会での活動に参加したいと思わない」が10.6%でございました。

こちらでは、「スポーツ・文化活動」が1番多かった一方、「地域や社会での活動に参加したいと思わない」という回答もありました。

【問16】「生涯学習について、市がどのような点に力を入れていくべきだと思いますか」という質問では、「生涯の各段階に応じた事業」が18.9%でもっとも多く、続きまして、「情報提供」が16.0%でございました。

こちらの質問からも、市民の皆様が、市から生涯学習に関する情報がほしいということで回答いただいております。生涯学習をする上では、参加するにあたっての情報が重要であるということが分かりました。

続きまして、コロナ禍における生涯学習についてになります。

【問17】「新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、学習等に関する意

識についてあてはまるものは何ですか」という質問では、1番多かった回答が、「人とのつながり」で21.6%。続いて「情報収集」が18.2%となりました。

こちらの回答を見ますと、しばらくの間、知り合いや友人と会うことができなかつたため、皆様が人とのつながりが大切だと感じられたのだと思います。

また、併せて、人と会わなくても何かしら情報を得たり、関わったりすることができるということでインターネットの重要性が上がってきたことが、回答として反映されてきております。

【問18】「新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、オンライン学習を行いましたか」という質問では、「行った」が21.3%。「行っていない」が、73.8%でございました。こちらを見ますと、コロナ禍でインターネットを活用した学習がある程度進んできたと思われる一方、実際に行った方は約2割ということで、少ない状況でございます。

そのため、インターネットを活用した学習などをされている方もいらっしゃいますが、依然として、実際に参加する講座等の需要が高いのではないかとということが分かっております。

【問18】で「行った」と回答いただいた方に、【問19】「どのような学習を行ったか」と質問したところ、1番多かったのがZOOM等の「同時双方向型」のリアルタイム学習が51.3%で、続いてYouTubeなどの「オンデマンド型学習」が43.4%となりました。

【問18】で「行っていない」と回答いただいた方に、【問20】「行っていない理由」について質問したところ、1番多かった回答が「特に必要ない」ということで、39.6%。次いで「やり方が分からない」ということで20.7%でございました。

今はオンライン学習でYouTubeやZOOMなど、手軽に実践できる世の中になってきてはいるのですが、その中でもやり方がよく分からないですとか、やり方を覚えてまで実際にやる必要がないといった考えをお持ちの方が多岐が分かりました。

少し長くなりましたが、第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告についての説明でございませう。

皆様からご意見等がございましたら、伺いたいと思っております。よろしくお願ひします。

宮内議長

ありがとうございました。

事務局から説明がありました。

資料の1-2でございませうけども、これは私がまとめたものなのですが、訂正させていただきます。「行った理由」とありますが、「行っていない理由」の誤りですので、訂正させていただきます。

今、お話がありましたように対象人数2,000人の中で629人、31.5%という割合でちょっと少なかったかなと感じております。

市民大学、高齢者大学を知らないは約47%、生涯学習につきましては時間があればやりたいという人が32%。実際、行っていない人が79%もいるということ。生涯学習について、皆さんのやろうという気持ちがあつても、なかなかできないのではないかと思ひます。最終的には、広報関係、情報提供、インターネットは今後活用していくと思ひます。こういったものを推進していかないと生涯学習についての認識が薄くなつてしまふのではないかと思ひております。

こちらの資料を参考にしていただき、皆様からの意見をちょうだいしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

杉村委員

杉村です。質問させていただきたいと思ひます。

設問の中で、現在、生涯学習をしていますかという質問に対して、「している」が18%、「していない」が80%近くあるわけですね。年齢が今回18歳から70歳を対象としているので、それを平均して18%ではないかと思ひます。年齢別に偏りがあるのか分かる資料が、もしあつたら教えていただきたい

いです。

例えば市民大学とか高齢者大学とかは、どちらかという、年齢層が高い人が活動しているわけですね。そういった方にする質問と、18歳とか20歳にする質問では、やっぱりやっているかやっていないかの偏りが出てしまうのではないかと思います。

事務局（渡辺）

ありがとうございます。詳細な数字はこの場でお示しできませんけれども、やはり年齢が高い方については、生涯学習への認知度が高いと思われます。

宮内議長

今回の結果ですが、18歳から70歳以上まで幅広くやっているものですから、偏りもあるかと思います。

篠原委員

はい。

宮内議長

どうぞ、お願いします。

篠原委員

今の話に付随した話です。

今回のアンケートを見させていただきまして、平成28年度に策定したまなびすとプランでも同じ質問をしているのですよね。例えば生涯学習全般についての【問2】「生涯学習について、どうお考えですか」に対し、「積極的に行いたい」が6%、「時間があれば行ってみたい」が32%という投票結果が出ておりますが、平成28年度策定のみなびすとプランの結果を見ますと、「積極的に行いたい」が17.7%、「時間があれば行ってみたい」が62%となっております。

ただ、前回のアンケートのとり方と、今回のアンケートではとり方が違うので、一概に比較にならないと思いますが、「積極的に行いたい」で3分の1になってしまったのは、非常に危惧する事態だと私は認識しております。

生涯学習課の方には申し訳ないのですが、これだけ見ると、ちゃんとした仕事ができているのか非常に心配になる結果でございますね。

ですから、ぜひその辺の原因も精査して、新しいまなびすとプランに反映させてほしいなと私は考えております。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。前回と今回のアンケートではとり方が違いますので、なかなか両方を比較するというのは難しいかと思っておりますけれども、ご意見はいただきたいと思っております。

他にいかがですか。山崎委員。

山崎委員

すみません。私は生涯学習そのもののとらえ方についてもう1回教えていただきたいなと思っております。

生涯学習は若いも若きもすべての市民が対象です。それと、学校教育、社会教育などの教育活動。それから自己学習、新しい知識や技能を得ること、それらの学習の総体が生涯学習だと思います。

そうなると、今の若い方、例えば18歳から22歳までの人は、もう何気なく生涯学習しているのではないかなと思うのですよね。だから、生涯学習というとらえ方がまだ若い人たちに浸透していない、あるいは、とらえ方が違うのかなと感じました。以上です。

宮内議長

ありがとうございます。若い人たちに生涯学習とは何かということを説明して、やっていただくのはなかなか難しいかと思っております。

生まれた時からやるのが生涯学習というものですから、若い人や年寄り関係無く推進していかなければならないと思っております。

アンケートを改めてみると、「市民大学」「高齢者大学」について、「まったく知らない」が40%以上います。その他にも「出前講座」「人材バンク」「まなびすとフォーラム」「社会教育委員」「生涯学習推進会議」など、多くの人が

知らないという結果になっております。実際に生涯学習活動として何をしているかというのを、市民の方が分かっていないのかなという気がします。

田沼委員

田沼と申します。

私は生涯学習推進部の方で、主に「広報紙 まなびすと久喜」の作成に携わっています。

コロナ禍でしたので休刊もありましたが、22号まで関わっています。今日は持って来なかったのですが、市民大学や高齢者大学、まなびすとフォーラムなどの記事を扱っているのですね。

ただこのアンケートを見ますと、「広報紙 まなびすと久喜」を「まったく知らない」が多くなっています。これは年2回全戸配布していて、情報発信はしているのですが、なかなか目を通していただけてないのかなという気がします。

ですので、皆さんに親しみやすい、目を通していただけるようなものに変えていかなければいけないのかなと思います。

そこで今回、23号を8月1日号で発行いたしますけれども、今回は広報くきの中に折込みとして、「広報紙 まなびすと久喜」を発行することになりました。

また、今までのものは皆さんご存じだと思いますけれども、字も小さく、写真も小さく、そして、カラーではありませんでした。

今回からは、写真も多くに載せ、そして文字は大きく読みやすいというような広報紙にリニューアルをして発行することになりました。今回は人生100年時代、生涯学習のすすめというタイトルで、生涯学習推進部はこんな活動していますというようなことが分かるように、そしてより多くの皆さんに見ていただけるようなものになった気がします。

やはり、皆さんの目に触れていただかなければ、生涯学習などについても理解が深まらないと思いますので、今後も皆さんに理解を深めていただくような「広報紙 まなびすと久喜」を発行していきたいと思っています。以上です。

宮内議長

ありがとうございます。今、「広報紙 まなびすと久喜」を回覧させていただいております。こちらが今月末に区長を通じて全戸配布される予定ですのでご覧になっていただければと思います。

今のお話のように、多くの写真を使い、生涯学習活動はどういうことをやっているのかということが分かりやすい形で広報活動をしていきたいと思っています。

アンケートにもありましたように、情報提供に関しては、推進していかなければいけないと思っています。

「広報紙 まなびすと久喜」を「まったく知らない」は59%ですので、他と比べると認知されているのではないかと思います。より分かりやすい形で発信していきたいと思っていますので、ご理解をいただければと思います。

他に何か皆さんご意見ございますでしょうか。はい、影山委員。

影山委員

「うっせえうっせえうっせえわ」という歌が、非常に物議を醸し出しましたが、でもすごくインパクトが強くて、私もその曲が印象に残りました。

何が言いたいかというと、広報の仕方がどうなのかなあと。知らないというのは、やはり知らされてない部分もあるだろうし、あと今、田沼委員がおっしゃった広報紙の内容の変革を追求していくというのは、必要なのではないかと思いますよ。

我が家にも広報くきは届きますが、読もうという意識にならないことがあります。

なぜかということ、毎回同じで、また同じものしか書いてないのかななんて考えてしまうと、積極的に読もうという意識にならないということにも、この生涯学習に対する市民の意識の変化っていうのがないのかなと思っています。

本気で、生涯学習というものを浸透させる気があるのかなのかということ

で言うと、予算の面だとか、あと、若い方は生涯学習に対する意識というのはいりなくて、むしろ私みたいな高齢者のほうが、そういうものに関しては意識があります。

まず場所です。交通手段とか、あと例えば講座の種類だとか、そういうものを工夫すれば、人が積極的に参加することができるのではないかなと思うのですよね。そういうことを知らせるための広報の仕方というものが、必要になってくるのではないかなと思います。じゃあどうすればいいのかって聞かれると、分かりません。でも結局は、ある程度のお金のかけ具合なのではないかなと思います。

ちょっと話長くなってごめんなさい。私も今、久喜市のあるスポーツ団体の運営に関わらせていただいているのですが、すごいなと思ったのは、栗橋駅の通路のところに、誰の目にもつくような大きな文字で「健幸・スポーツ都市宣言」という大きな幕が掲げられているのですよ。私もスポーツ関係をやっているので、目に入ってくるのかなっていうのはありますけど、市長部局になったスポーツ振興課が、そこまで力を入れているというのがあると思うのですね。だったら、生涯学習ももうちょっと何かアクションを起こしてもいいんじゃないかなと思います。具体的な方策を持ってないのですが、どうにかしないとやりたいという人たちの心に訴えることができないのではないかな、具体化できないのではないかなと思います。

今、私が入っているスポーツ推進委員でも同じ悩みを抱えています。なかなか参加してくれる方がいらっしやらない。地域ごとにいろいろな構造を改正しているのですが、なかなか来ていただけない。どういうふうに周知していくのかが私たちの課題の中の1つです。

ちょっと話が長くなってしまい申し訳なかったのですが、もうちょっと市としても本気で予算を取って、何らかの方法で訴える方法を考えてもいいのかなと思いました。大変失礼いたしました。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。

いずれにしても、いろいろ予算の関係となりますと、生涯学習課で予算等を取っていただかなければいけないということ、そしてまず、知らしめるということで、皆さんに知ってもらうためには、ある程度、広報関係で情報を流さないといけないということを、今スポーツ関係でもお話がありました。いろいろご提案ありがとうございます。

他に、こちらの調査資料についてご意見いかがですか。長谷川委員。

長谷川委員

私、初めて「広報紙 まなびすと久喜」を見まして素晴らしいなと思いました。

今までは多分、目には入っていたのかもしれないのですが、今日ゆっくり見て素敵だなと思いました。それで、生涯学習という言葉は生涯関わらると思うのですが、多分、久喜市が目指している生涯学習のターゲットというのは、リタイアされた方なのではないでしょうか。

ですから、この調査は非常に大変だったと思うのですがけれども、若い人にとってみれば、魅力的なものはないと言ってもいいのではないかなと思いました。私たちの年代が1番多いと思うのですがけれども、その人たちにターゲットを絞って、魅力的なものを発信していくことで、当初の目的が達成されるのではないかなと思います。

他の教育機関で若い人たちがやっているわけなので、リタイアされた人たちにターゲットを絞って、その人たちが生涯学習を続けていけるような、例えば健康であるとか、体と心と両方の健康であるとか、経済的なこととか、それからアクセスできる条件を整えるとか、情報を十分伝えるとかそういうことが大事ではないかなとこの調査を見て思いました。

宮内議長

はい。ありがとうございます。今お話がありましたように、リタイア組と言っでは申し訳ないのですが、市民大学につきましても、今の1年生を見ましても、

大変失礼な言い方ですけどかなり高齢者が多くなっています。

今、定年年齢が伸びております。私、市民大学60歳で入ったのですが、そのあと、定年年齢が65歳、70歳までに伸びてくるということになると、皆さん自分の生活を重視されてきて、他のものにつけてやっつけていこうというのがなかなかできないのではないかと思います。

ただ、若い人に対しては、魅力あるものだということを発信していかないと、我々の生涯学習の活動自体が、何のためにやっているのかということになってしまいますので、ぜひ今度の「広報紙 まなびすと久喜」は社会福祉協議会とかと同じで広報の中に折り込まれていますので、ぜひ皆さん、中身を見ていただければと思います。

影山委員がおっしゃったように、以前のものは細かい字ばかり書いてありましたので、なかなか読んでいただけなかったのかもしれないですが、今回は広報の中に折り込まれていますので、ぜひ市民の方に関心を持っていただければ、多少、我々の趣旨が伝わるのではないかと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

他にこの調査報告についてご意見ございますか。よろしいでしょうか。

<意見、質問なし>

宮内議長

それでは、議事(1)「第2次久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査報告書について」は終了させていただきます。

続きまして議事(2)「第2次久喜市生涯学習推進計画の策定について」、事務局から説明いただきたいと思ひます。

鈴木係長

議事(2)「第2次久喜市生涯学習推進計画の策定について」でございます。

先ほどお話した内容で重なる部分もございますが、まず初めに生涯学習推進計画についてご説明いたします。

現行の久喜市生涯学習推進計画、まなびすとプランとも呼んでいますが、こちらは平成25年3月に策定されました久喜市総合振興計画の生涯学習に関する施策を具体化するための個別計画となっております。

対象期間は平成25年度から令和4年度までの10年間でございましたが、社会情勢の変化等もあり、中間年であります平成29年度に一度見直しを図りまして、策定したものが現在の久喜市生涯学習推進計画でございます。

先ほどご説明させていただきました令和4年3月に実施した市民意識調査の結果から、市民の生涯学習に関する現状を把握しまして、令和5年度から令和9年度までの計画を今後策定することとしております。

それでは、第2次久喜市生涯学習推進計画の策定に係るスケジュールについてご説明をさせていただきます。

資料2の2番をご覧ください。こちらが策定までの現在のスケジュール案となっております。

まず、3月に先ほどお話しました市民意識調査を実施しました。

その後、4月から6月にかけて、回答いただいた内容の集計のまとめを行い、先ほどの報告の案を作成させていただいております。

続きまして、7月の中旬、こちらが本日の生涯学習推進会議①です。今後は、生涯学習推進会議を年3回予定しております。

あとは生涯学習推進会議のほか、7月下旬に検討部会①というのがございます。

検討部会は合計で6回あります。今回の計画の策定に当たりまして、検討部会を組織して、策定を進めていきたいと考えております。

その検討部会についてですが、資料2の3をご覧ください。

これまで、久喜市生涯学習推進計画の策定にあたっては、検討部会を立ち上げまして、原案の作成を行ってまいりました。今回策定する第2次久喜市生涯学習推進計画につきましても、検討部会を組織しまして、原案を作成していきたいと考えております。

その検討部会なのですが、まだ確定ではありませんが、検討部会の委員の皆様はこのような形で組織したいと考えております。この委員案についてはこちらの一覧のとおりですが、今回ご出席いただいております生涯学習推進会議の議長の宮内議長をはじめ、社会教育委員会議の委員長の金子委員長ですとか、小学校の校長先生を代表いたしまして、江面小学校の朝武校長先生といった方々に、現在調整をさせていただいております。以上でございます。

宮内議長

はい。第2次久喜市生涯学習推進計画の策定ということで、来年の3月に改訂の時期ということになります。それに基づいて、今年度から検討部会を組織して、内容の変更を検討する会議をこれから行うところでございます。

今までの10年間、まなびすとプランに基づいて、我々、生涯学習推進会議、また生涯学習推進部は活動してきたわけですが、そちらの基本的な計画になるということで、今後、どのような形で検討していくか、教育部を含め作成していき、来年の4月に新しいまなびすとプランを策定できるよう進めていきますので、ぜひ皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

こちらの策定についての説明について、皆様からご意見ございましたらどうぞ。

<意見、質問なし>

宮内議長

よろしいでしょうか。

<会場から”はい”という声あり>

宮内議長

今後このように進めていきますので、ご了解いただければと思います。

続きまして、議事(3)「第11回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」」につきまして、推進部委員の明石から説明させていただきたいと思ひます。資料3をご覧くださいと思います。

明石委員

推進部の明石です。よろしくお願ひします。

これから「まなびすと久喜」というものについて、少しご説明させていただきたいと思ひます。着座で失礼いたします。

まず皆様のお手元にあります資料3です。これにつきましては先ほどのアンケートを見ると、「まなびすと久喜」を「言葉は聞いたことがある」という人は、30%程しかおりません。こんなもんなのかなど感じる部分があります。それと、10回やったタイミングでコロナになってしまい、その間は何も実施できていません。アンケート取ったときは、実際にはやってなかったわけですから、これから1からスタートするつもりで、次の説明をしたいと思ひます。

第11回の久喜市生涯学習推進大会、まなびすと久喜についてですが、資料3に詳細が出ています。

こちらを全部説明しますと時間かかりますので、要点だけをご説明したいと思ひますが、詳細については裏を見ていただきたいと思います。

1の「開催趣旨」としては、これは生涯学習推進計画の中にも入っております。

市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくとともに、日ごろの学習の成果を発表する場とする。ということは、ちゃんと生涯学習活動という団体活動があるということが前提になっているのではないかと思ひます。

ただそこが、アンケートの内容からだと何となくまだ寂しいなという部分です。

次に、一緒に学ぶ喜びを通じて、市民の生涯学習意欲を喚起し、新たな「まちづくり創造」へ寄与する。

これもちょっとそういう意味で、どういう具合に意欲を喚起すればいいのかなと。

ただ、私どもが感じて10年間やってきた経過、私がいずれに実現したのとは後半ですけれども、その中で見ると、学習意欲を喚起すると、あるいは新たなまちづくり創造へ寄与するという部分に関しては、かなり惰性になっているのではないかと感じております。

2の「開催時期」としては、令和5年2月5日の日曜日で、1日に短縮してやるつもりです。

3の「実施会場」は、この鷺宮総合支所5階の生涯学習施設「まなびスポット」を含めて、4階の会議室406から408の3部屋を使って実施するという事を考えております。

4の「実施内容」としては、発表会、それから各種展示です。この辺も密にならないようにコンパクトな形から、スタートしていきたいなと思っております。

次に、5の「運営組織」としては実行委員会体制であります。(1)の生涯学習推進部企画運営部会で、現在話し合っておりますけど、ここを事務局として、

(2)の生涯学習推進会議の委員の皆さん方に、ぜひ実行委員として参加していただきたいです。

次に(3)の生涯学習推進部委員の方々ですが、以前は20名いたのですが、少し減りました。

そして(4)の市民大学生、(5)の高齢者大学生、それから当日のボランティアの方々で進めたいと思っております。

ただ実行委員会に対して、公募は今回実施せず、ボランティアは個々に対応していきたいと思っております。

6「検討事項」としては、実行委員と展示発表者の募集をどうするかです。先ほど申しあげましたように、実行委員は募集しません。ただし、展示発表者の募集については実施します。

鷺宮総合支所における資材等の把握については、初めて鷺宮総合支所でやるわけですので、従来とは違う対応になりますことから、少し時間をかけて内容を精査していきたいと思っております。

臨時役員会の開催をかなり増やして、動き出そうと思っております。オンライン会議等を含めて、実施したいと思っております。

第10回久喜市生涯学習推進大会については、資料4のようにチラシを作って配ってございました。チラシについては実行委員会で検討していきたいと思っております。皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。

当初、私がいささか申し上げたように、ここの施設が増えましたので、計画をこれから進めていくところでございます。

従来は皆さんからのご意見をいただき、講演やパネルディスカッションをやってきたのですが、なかなか人の集まり具合や会場の関係がありますので、講演は今回は中止にして、発表会と展示を実施する計画をしています。

今、説明がありましたように、生涯学習推進部が22名から18名に減ってしまっていて、実行していくにも頭数がおりにませんので、ぜひ推進会議の皆様にもご協力をお願いしたいと思っております。

また、OBの方とか、市民大学、高齢者大学の校友会にも声をかけたいと思っております。

今回ここで新しくやりますので、どれくらいの規模でできるかは未定なのですが、生涯学習課に資材等を確認させていただいておりますので、そちらを踏まえて、こちらの会場でできる範囲でやってみたいと思っております。ぜひ皆様のご協力をよろしくをお願いしたいと思います。

まなびすと久喜につかまして、ご意見ありますでしょうか。はい、どうぞ。

影山委員

意見ではなくて、お願いです。

私は第10回の推進大会に参加させていただいて、生涯学習推進部にお世話になっていました。

大変だったのは、運営する人数を確保することです。中心になってやってくだ

さった方が少なくなっていました。私は、実行委員長をやらせてもらった時もあり、その時に感じたのは、私の認識が間違っているかもしれませんが、生涯学習推進部は、生涯学習推進会議の下にある戦闘部隊ではないかと思うのですよね。戦闘部隊だけがあっち行ったりこっち行ったりして、非常に忙しい毎日を送っていた記憶があります。

お願いとしては、ここにいらっしゃる生涯学習推進会議のメンバーが参加していただければ、どれほどの力になるかなと実行委員長をやっていた時に思いました。もちろん、来られない方もいるかとは思いますが、少なくとも生涯学習推進会議のメンバーであるならば、なるべく参加して現状を知ることは、我々の務めなのかなと思います。

もし可能であれば、知り合いの方にも声かけていただければ、生涯学習推進部の助けになるのではないかなと思います。ちょっと生意気で申し訳ないのですけれども、参加していただけたらなと思いましたが発言させていただきました。

大変失礼いたしました。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。

久喜市生涯学習推進会議条例第7条に、「推進会議が策定した基本的な指針の実現に向けて、市民の意見、要望等を取り入れ、市民の手による生涯学習の推進を行うために、生涯学習推進部を置く。」とあります。生涯学習推進部の上部団体でございますので、ぜひ生涯学習推進会議の皆様にも今後、ご参加いただきたいと思っております。

先ほどから申し上げておりますように生涯学習推進部の人員が減っておりますので、前回、実行委員長までやられた影山さんからお話いただきましたように、ご参加いただければと思います。よろしくお願ひしたいと思っております。

他に何かございますか。はい、島田委員。

島田委員

来年2月に開催予定ですけど、今度、会場が変わってこの会場でやられるわけですよね。発表会に出るチームや子ども、観客を含めて、やり方は今後の課題ということですね。

宮内議長

はい。

島田委員

発表会の場所は決まっているんですよね。

宮内議長

発表会はこちらの会場でやる予定です。今お話があったように、一応、中央公民館も押さえてあります。コロナの状況もありますが、生涯学習推進部としては、今回、まなびすと久喜をこの会場でやってみたいと思っております。

しかし、今回実施して、会場が小さいとなれば、また他の施設を考えていかなければいけないと思っています。中央公民館にするのか、4地区を持ち回りにするのか、あるいは久喜総合文化会館の小ホールにするのか。小ホールでの実施も計画したことがあるのですが、使用料が高いのですよね。ですので、やはり市の施設を利用してやらざるを得ないと思っています。まずは1回、この生涯学習施設でやってみたいと思っています。

後ろも傍聴席があり、30席以上ありますし、この部屋自体は中央公民館の大集会室とあまり広さに違いはないと思っていますので、何とかできるのではないかとと思っています。

その他のイベント、出店については部屋が限られてしまいますので、従来の中央公民館と同じように、4階まで使って行うのは難しいと思いますので、どのくらい入るのかを検討したうえで申込者をお願いをしていこうと思っています。

島田委員

10月1日の広報に載せるということで、確か今までの経験ですと、子どもの出し物の時は、保護者や高齢者が多く来るので、募集する時にその辺も考慮しないといけないと思ったものですから。以上です。

田沼委員

先ほどの影山委員のお話に戻りますが、やはり生涯学習推進会議の方が実行委員に入っていたいただきたいと、私たち生涯学習推進部委員は常々感じているところなのです。

やはり生涯学習推進会議の方が、実行委員として入っていただいて、実際に私たち生涯学習推進部委員とともに現場を当日見ていただければ、さらに発展していくのかなと思うのですよね。

ですので、先ほど影山委員が過去の感想をお話していただいて、ありがたかったのです。今回は生涯学習推進会議の方には、実際に新しい会場で実施するまなびすと久喜を実行委員として入って見ていただきたい。そして、より良いものにしていくにはどうしたらよいか、反省して評価をしていただければ、市民の方にも大変プラスになってくるのかなと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。

宮内議長

はい。ありがとうございます。

願ひばかりして申し訳ないのですが、今月中にある程度、基本的なものをまとめまして、8月に入りましたら、実行委員や組織といったものを立ち上げていかなければならないと思ひています。

9月には市民大学生を含めた幹事会という形で、実際に何を実施するかを決めていかななくてはいけないのです。半年前から準備を進めてまいりますので、生涯学習推進会議委員の皆様のご協力をお願ひできればと思ひています。よろしくお願ひします。

では、本日の議事は終了いたしました。「その他」で、何か事務局や皆様からご意見、ご質問等ございましょうか。

<意見、質問なし>

宮内議長

では、第4回久喜市生涯学習推進会議をこれにて終了させていただきたいと思ひます。

ありがとうございました。

事務局（渡辺）

宮内議長、ありがとうございました。

それでは、最後に事務局からご連絡させていただきます。現委員の皆様におかれましては、今回の会議が最後となります。2年間、ありがとうございました。9月から新たな委員で久喜市生涯学習推進会議を進めてまいりたいと存じます。

本日は長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。

なお、本日の会議録は事務局で作成し、宮内議長に署名をいただき公開させていただきます。

以上をもちまして、第4回久喜市生涯学習推進会議を終了とさせていただきます。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和4年 8月 9日

議長

宮内 智